

# 日興AM中国A株ファンド ＜愛称 黄河＞

追加型投信／海外／株式

## 交付運用報告書

第14期(決算日2018年9月21日)

作成対象期間(2017年9月22日～2018年9月21日)

### 第14期末(2018年9月21日)

基準価額	20,579円
純資産総額	2,199百万円
第14期	
騰落率	△ 13.4%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法＞

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興AM中国A株ファンド」は、2018年9月21日に第14期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として中国企業の人民元建株式(中国A株)に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

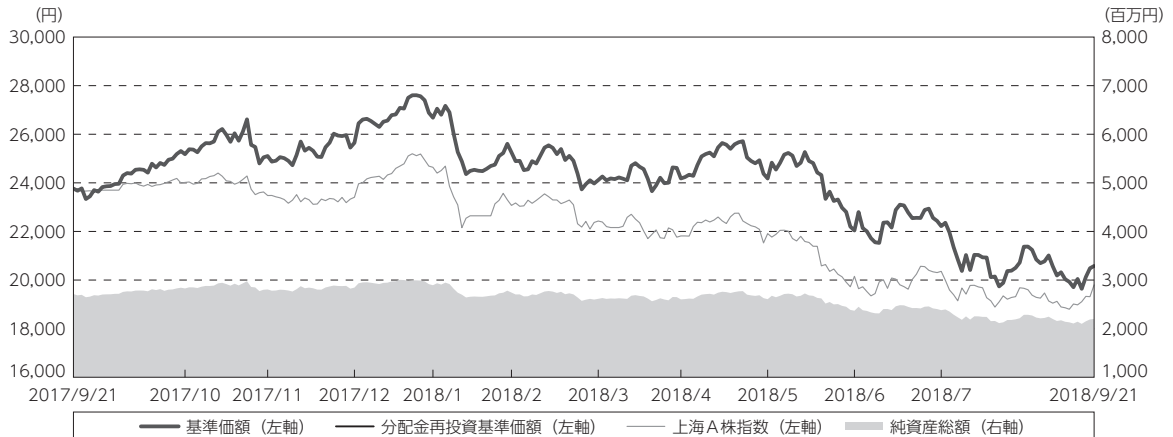
コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2017年9月22日～2018年9月21日)



期 首：23,763円

期 末：20,579円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 13.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額および上海A株指数は、期首(2017年9月21日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 上海A株指数は当ファンドの参考指数です。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として中国企業の人民元建株式を実質的な投資対象とし、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・力強い景気回復を背景とした企業収益成長の好調さが中国A株市場の主な牽引役となったこと。
- ・中国のマクロ経済の回復が鮮明となり、堅調さを維持したこと。
- ・MSCI新興国株指数への中国A株の組入れを受けて、上海・香港間および深セン・香港間のストックコネクト(相互株式取引制度)を通じた外国人投資家による中国A株市場への投資が増加したこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・金融システムおよび国有企業の負債比率抑制に取り組んだことによって、債務削減が市場の流動性を低下させたこと。
- ・米中の貿易摩擦が悪化し、輸出の鈍化による経済の減速が懸念されたこと。
- ・中国人民元が対円で下落したこと。

## 1万口当たりの費用明細

(2017年9月22日～2018年9月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	546	2.268	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(260)	(1.080)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(260)	(1.080)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
( 受 託 会 社 )	( 26)	(0.108)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	104	0.432	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株 式 )	(104)	(0.430)	
( 投 資 信 託 証 券 )	( 1)	(0.002)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	32	0.135	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	( 32)	(0.135)	
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	23	0.094	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 21)	(0.087)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	705	2.929	
期中の平均基準価額は、24,089円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2013年9月24日～2018年9月21日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額および上海A株指数は、2013年9月24日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年9月24日 決算日	2014年9月22日 決算日	2015年9月24日 決算日	2016年9月21日 決算日	2017年9月21日 決算日	2018年9月21日 決算日
基準価額 (円)	15,462	15,841	22,174	18,270	23,763	20,579
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.5	40.0	△ 17.6	30.1	△ 13.4
上海A株指数騰落率 (%)	—	3.7	37.3	△ 3.8	11.0	△ 16.7
純資産総額 (百万円)	5,167	4,096	3,261	2,297	2,711	2,199

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
 (注) 上海A株指数は当ファンドの参考指数です。  
 参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しているものです。

## 投資環境

(2017年9月22日～2018年9月21日)

## (株式市況)

期間の初めから2018年1月にかけては、中国A株市場は、好調な経済指標や上場企業の収益成長を受けて、大幅に上昇しました。期間中は、中国の主要経済指標が非常に好調な様相を呈し、市場予想よりも底堅い内容となりました。MSCI新興国株指数への採用もより多くの海外資金の流入を引きつけ、大型株はより上昇しました。2月から4月にかけては、米国株式市場の下落を受けて、中国A株市場は投資家の利益確定売りによる下落に転じました。その後、株式市場は落ち着きを見せましたが、6月以降、米中間の貿易摩擦や債務削減の懸念により、再び下落しました。投資家のあいだでは貿易戦争による経済の減速が懸念されると同時に、金融システムの債務削減による市場流動性の低下も懸念されました。不動産市場の鈍化も、投資家の経済見通しを悪化させ始めました。市場を安定させるために、中国政府は金融および財政政策を微調整し、7月上旬に債務削減を棚上げしました。中国A株市場はやや反発したものの、足元まで軟調に推移しました。

## (為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。



## 当ファンドのポートフォリオ

(2017年9月22日～2018年9月21日)

## (当ファンド)

当ファンドは、「中国A株マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

## (中国A株マザーファンド)

ポートフォリオについて、過去12ヵ月は厳しい市場環境となるなか、当ファンドでは投資戦略の柔軟性を高めるよう努めました。2017年9月から2018年1月にかけての上昇局面では、景気回復の恩恵を最も受けられると考えた割安な大型株および消費関連株のウェイトを高めにしました。2月に市場が下落に転じて以降は市場全体への慎重な姿勢を強め、鉄鋼、金属、石炭や不動産関連セクターの投資比率を削減しつつ、食品・飲料、小売、ヘルスケア、電子機器といった相対的にディフェンシブ（景気動向に左右されにくい）なセクターにシフトして、ポートフォリオの調整を行ないました。それと同時に、収益成長が力強く、バリュエーション（株価評価）が魅力的な銘柄も常に組み入れるようにし、こうした銘柄が当ファンドのパフォーマンスに継続的に貢献しました。

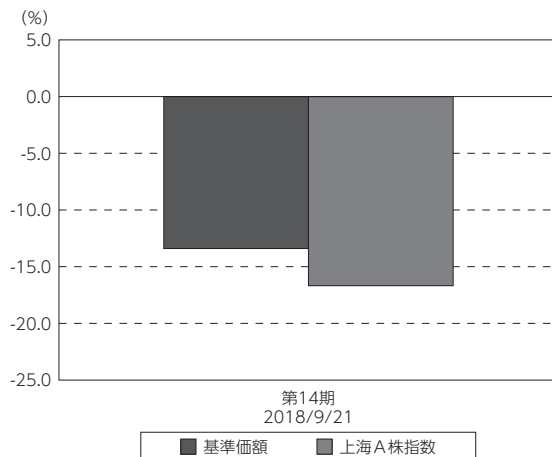
## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年9月22日～2018年9月21日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) 上海A株指数は当ファンドの参考指数です。

## 分配金

(2017年9月22日～2018年9月21日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第14期
	2017年9月22日～ 2018年9月21日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	32,354

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

## 今後の運用方針

### (当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「中国A株マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

### (中国A株マザーファンド)

新たな政策が景気の下支えを強化し、株式市場の投資家心理は好転していくことが期待されるため、当ファンドは市場に対してより強気の見方に転じました。中小企業の支援強化やインフラ整備などの財政政策が発表され、今後の経済成長と市場心理の安定化に役立つと考えています。さらに、第2段階となる中国A株のMSCI新興国株指数への組み入れにより、今後数ヶ月において更なる海外資金の流入が見込まれます。今後、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）が好転し、流動性が改善すれば、市場は反発すると考えています。

当ファンドは現在のバランスの取れたポートフォリオを維持し、想定外となる市場の動きに対応する場合を除き、現在の方針を継続する予定です。一般消費財（生活必需品）、ヘルスケア、テクノロジー、ソフトウェアサービスセクターのウェイトを引き続き高めに維持する方針です。また、不動産開発を含む不動産関連、景気循環関連セクターのウェイトを引き下げる方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお申しあげます。

## お知らせ

2017年9月22日から2018年9月21日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

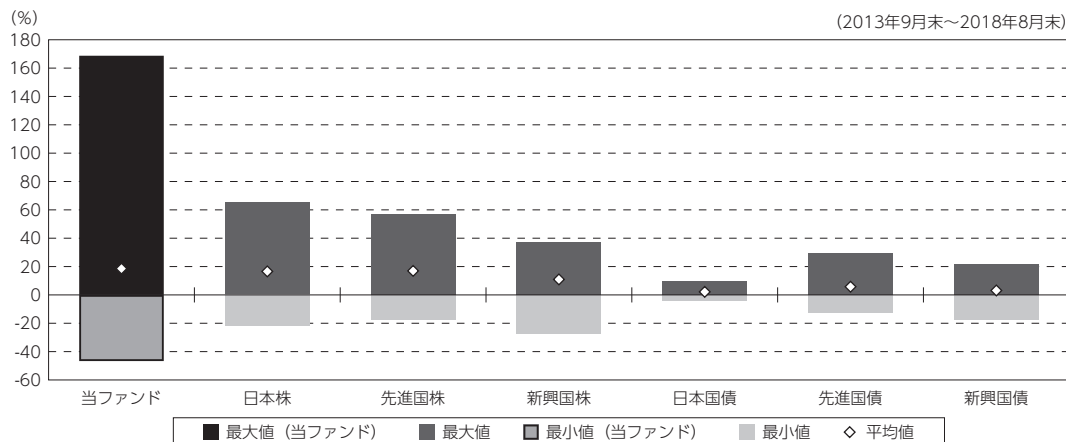
当ファンドについて、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に定める信用リスクを適正に管理する方法として、一般社団法人投資信託協会規則に従って委託会社が合理的な方法を定めるべく、2017年12月19日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(付表)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2005年2月28日から原則無期限です。 (クローズド期間は、原則全期間です。)	
運用方針	主として「中国A株マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざします。	
主要投資対象	日興AM中国A株ファンド	「中国A株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	中国A株マザーファンド	中国企業の人民元建株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として中国企業の人民元建株式（中国A株）に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。主に、「中国A株マザーファンド」受益証券を通じて、上海証券取引所、深セン証券取引所に上場する中国A株を中心に投資します。	
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	168.7	65.0	57.1	37.2	9.3	29.1	21.4
最小値	△ 46.7	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	18.6	16.6	16.9	10.9	2.1	5.8	3.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年9月から2018年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。



## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2018年9月21日現在)

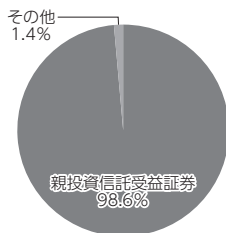
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第14期末
中国A株マザーファンド	98.6%
組入銘柄数	1銘柄

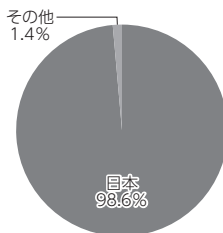
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

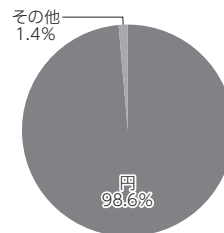
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

項目	第14期末
	2018年9月21日
純資産総額	2,199,649,528円
受益権総口数	1,068,875,613口
1万口当たり基準価額	20,579円

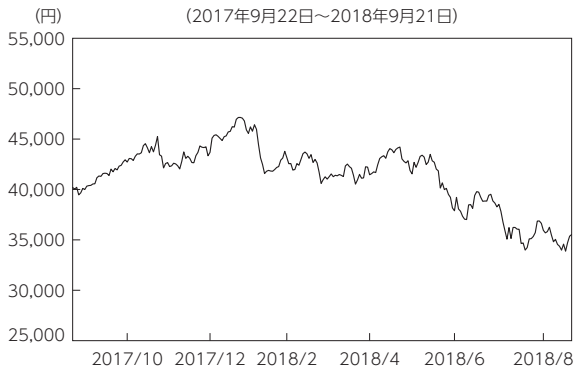
(注) 期中における追加設定元本額は15,498,981円、同解約元本額は87,787,158円です。

## 組入上位ファンドの概要

## 中国A株マザーファンド

【基準価額の推移】

(2017年9月22日～2018年9月21日)



【1万口当たりの費用明細】

(2017年9月22日～2018年9月21日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式 券) (投資信託証券)	183 (182) (1)	0.444 (0.441) (0.003)
(b) 有価証券取引税 (株 式 券) (投資信託証券)	57 (57) (0)	0.137 (0.137) (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	38 (37) (1)	0.092 (0.090) (0.001)
合計	278	0.673

期中の平均基準価額は、41,183円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2018年9月21日現在)

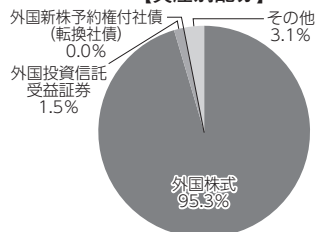
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 PING AN INSURANCE GROUP CO-A	保険	中国人民元	中国	4.4%
2 CHINA MERCHANTS BANK-A	銀行	中国人民元	中国	2.5%
3 INDUSTRIAL BANK CO LTD-A	銀行	中国人民元	中国	2.4%
4 KWEI CHOW MOUTAI CO LTD-A	食品・飲料・タバコ	中国人民元	中国	2.2%
5 AGRICULTURAL BANK OF CHINA-A	銀行	中国人民元	中国	2.1%
6 ANHUI CONCH CEMENT CO LTD-A	素材	中国人民元	中国	1.9%
7 CHINA CONSTRUCTION BANK-A	銀行	中国人民元	中国	1.8%
8 CHINA YANGTZE POWER CO LTD-A	公益事業	中国人民元	中国	1.8%
9 PING AN BANK CO LTD-A	銀行	中国人民元	中国	1.7%
10 IND & COMM BK OF CHINA - A	銀行	中国人民元	中国	1.7%
組入銘柄数		91銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

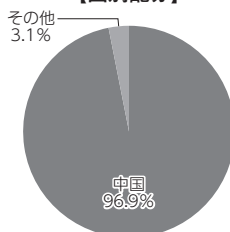
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

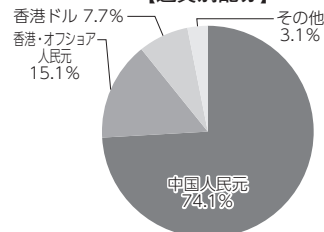
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。